

助詞

格助詞

…(が・の・を・に・へ・と・
より・にて・から・して)

格助詞「の」「が」

- ① 主 格(ガ)
- ② 連体格(ノ)
- ③ 同 格(デ)
- ④ 準体格(ノモノ)
- ⑤ 連用格(ノヨウニ)

…「が」には連用格は
ないので注意!

〈同 格〉

体言 + の … 連体形

が に を

※「の」の上の体言を「…連体形」の下に挿入して意味
がつかない場合、「の」は同格で「で」と訳す。
連体形の下に「を・に・が」があることが多い

体言同格 形容詞・連体

・色濃く咲きたる木の様体うつくしきが侍りしを

(「色濃く咲いている木で姿が立派な木がございま
したので」)

・みめのうつくしき 体言同格 女房の、もの思ひ存続・連体たるが、
物をもいはでゐたる

(||顔かたちの美しい女性で、もの思いにふけている
女性が)

・御子の 体言同格 若君の十になり給へり過去・連体けるを、すかし
こしらへて、

(||御子の若君で、十歳におなりになった若君を)

④ いかなれば大納言のはめでたく兼久がは悪かるべきぞ
(||どうして大納言の歌はすばらしく、兼久の歌はよく
ないのであろうか)

⑤ 例の声いださせて
(||いつものように声をださせて)